

「福岡から世界へ」人材育成プロジェクトが実施されました



令和5年12月4日(月)、福岡県の15名の高校生がハワイ大学を訪問し、ハワイにおける人間、動物、植物、環境の相互関係を探る「ハワイ大学マノア校ワンヘルスプログラム」について学びました。

令和5年度から福岡県(教育庁)は新事業として「『福岡から世界へ』人材育成プロジェクト」(短期留学研修プログラム)を開始しました。

このプログラムには、福岡県内の高校生296名から応募があり、55名が研修生として選抜されました。このうち、15名がハワイコース(海外就業体験コース)に参加し、令和5年12月2日から9日にかけて、ハワイの自然、人、動物の共生・調和の考え方について学び、ハワイ産業の中心「観光ビジネス」での就業体験などを行いました。

ハワイ大学では、福岡県の高校生ということで特別に講義を引き受けていただき、人獣共通感染症や薬剤耐性菌の課題に対してワンヘルスの視点で取り組むことの大切さや、デング熱やトキソプラズマ症などの感染症に関する研究について講義を受講しました。



ハワイ大学での講義

「ワンヘルスの推進のために大切にすべきこと」や「大学院生が行っている環境活動」、「ワンヘルスとオーバーツーリズムとの関係」などについて質疑応答が行われ、講義の後は、大学院生とのディスカッションや、キャンパスツアーが行われました。



大学院生とのディスカッション



キャンパスツアーの様子

【参加した生徒からの感想】

人の病気だけでなく、動物、自然と一緒に考え、治療に取り組んでいくことが大切であるとわかった。

全ての生物が共存していくために何ができるかを考えることが大切である。

ワンヘルスの考え方をどんどん周囲の人に伝えていきたい。

「福岡から世界へ」人材育成プロジェクトについては、ハワイ大学ホームページにも掲載されています。

<https://manoa.hawaii.edu/tropicalmedicine/?p=7498>